

## 中国の少数民族 主題図の読図を重視した授業

東京都立三田高等学校 小川 芳雄

### 1. はじめに

いわゆる経済のグローバリゼーションの進展によって世界各地の人々の生活や文化は急速に画一化が進んでいる。しかし、一方で、そのような状況にもかかわらず、地図で表現できる分布状況には多様性を読み取ることができる。

本稿は中国の民族について、分布図から地域的  
多様性を読み解くことに焦点をおいた授業の記録  
である。

### 2. 多民族国家中国

中国は56の民族からなる多民族国家であること  
や人口割合については教科書「高等学校新地理A  
最新版」のグラフで確認しておく。少数民族の人口  
割合は8.4%で、人口100万人以上は18民族、そ  
のうち1617.9万人の人口を持つチョワン（壮）族  
が最大民族である。人口の最も少ないのはチベッ  
ト自治区に住むローバ（珞巴）族で2965人であ  
った（2000年の第5回国勢調査による）ことなどを  
説明して、人口からみた少数民族の多様性に気づ  
かせたい。

授業では次に各民族の暮らす地域の自然景観や  
民族文化の多様性に気づかせたい。映像教材\*に  
よって、チベット族が暮らすチベット高原や自治  
区都ラサの様子、河川沿いの平野での大麦栽培  
の実態や農家でのバター製造の場面などを見せる。  
さらにラサで収録された大道芸人の歌と踊りを視  
聴する。時間が許せばウイグル族やチョワン族な  
どについても視聴させたい。要は漢民族との文化  
の違いに気づかせるとともに、それぞれの民族の  
持つ生活・文化の奥深さにも着目させたい。その  
うえで、図1と地図帳の地勢図とを比較対照させ、  
各民族の分布を地形環境との関連で読み取らせる。

①漢民族は中国全域に分布する傾向があるが、

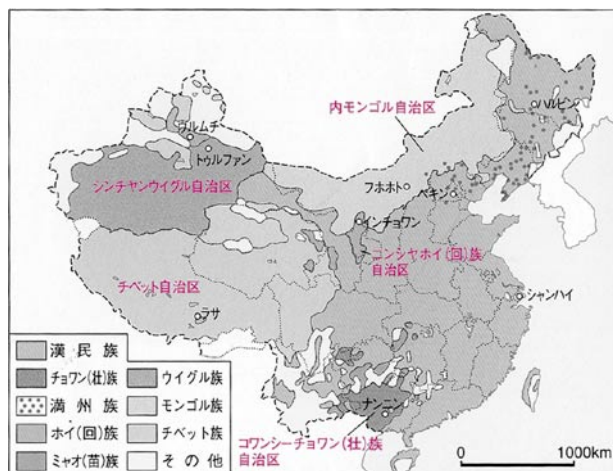


図1 ⑧「中国の民族分布」

帝国書院「高等学校新地理A 最新版」p.89

三大河川の中・下流域である東部の平野や東北平  
原に多く分布すること。②少数民族は、西部の乾  
燥地域や高原地帯、東北の乾燥地帯、南部の山岳  
地帯に多く分布すること。③少数民族は、国土の  
周縁部に分布していること。④漢民族居住地域よ  
り少数民族地域の面積の方が広いことなど、時間  
を取ってじっくりと読図させると、生徒は的確に  
分布現象を把握することができる。

### 3. 少数民族とその政策

少数民族の居住地域では区域自治が認められて  
いる。区域自治については、地図帳によって確認  
できることから説明する。省クラスの権限を持つ  
区域自治の単位として設定されている5つの自治  
区とその民族名を確認する。教科書のグラフと対  
照させると人口が多くても満州族とミャオ族は自  
治区を持っていないことなどが明らかとなる。人  
口の多寡だけでなく、民族の分布状況、民族的ア  
イデンティティの強弱なども勘案されて自治区が  
設定されたのである。また、地図帳には表示され  
ていないが、自治区の下のレベルに30の自治州、

120の自治県(旗)のほか、民族郷が1173ある(2003年現在)ことも補足説明しておく。そして、自治区、自治州、自治県の3クラスの行政区域内での政治、経済、文化、社会などの面での自民族主体による自治が認められていることを説明する。

#### 4. 少数民族はバイリンガル？

各民族文化の多様性を実感させるために文字を取り上げたい。教科書では、漢語について地域によって発音の違いがあることの説明がある。中国では漢字以外に27種類の文字が使用されていることにふれ、そのいくつかを図で示す。さらに、少数民族のうち満州族とホイ(回)族は漢字を日常用いるが、残りの53の少数民族はいずれも自民族の言語を使用して生活していること、文字を持たない民族は漢語を使うが、21民族は固有の文字を使用していることなどについて説明する。

少数民族地域の小学校では民族語によって書かれた教科書を使って低学年から授業が行われていることや、そのような民族小学校でも、なるべく低学年からの漢語(普通話=共通語)による教育が中央政府によって奨励されていることなどにも言及する。こうして少数民族にとっては自民族語と漢語の2つの言語の習得が負担になっている事実気づかせたい。

#### 5. 少数民族をめぐる問題

少数民族をめぐる問題として、言語面で漢民族への「同化」としてあらわれる少数民族文化の喪失傾向と、中国からの分離独立の動きについて取り上げる。

1970年代末から開始された経済の改革・開放政策によって貧しい農村部から工業化の進んだ沿海部へ多くの出稼ぎ労働者の移動が目立つようになった。このような出稼ぎ労働者には多くの少数民族が含まれている。2000年の国勢調査によると、都市で生活する少数民族は増加傾向にあり、少数

民族の4人に1人は都市で暮らしていることが明らかとなった。都市で「近代的」な生活することで、農村での伝統的生活様式を放棄する。その結果、伝統的生活様式を背景に成立した伝統文化や風俗習慣が廃れていくようになる。民族性の喪失がとくに貧困地区の少数民族、なかでも若年層を中心に進行している。

#### 1 言語に見る中国の多様性

中国は多民族国家で、中には周辺の国々と同じ系統の言語を話す人々がいる。周辺諸国の動向は、必然的に彼らに影響をおよぼしている。



図2 1 言語に見る中国の多様性

帝国書院「新詳地理資料 COMPLETE 初訂版」p.143

図2から少数民族の分布と中国の国境線は一致していないことに気づかせる。国境の外にも同じ民族が居住するのである。新疆ウイグル自治区のカザフ族のように中国国内では人口約125万人で少数民族とされるが、カザフスタンには約796万人(2004年)のカザフ族が住み国名から明らかのように主要民族となっている場合もあることに気づかせたい。このような事実から中国のカザフ族にはあてはまらないが、ある少数民族にとっては一つの民族が一つの国家を構成する「国民国家」建国の願望が存在するであろうことも予想させたい。最後にウイグル族とチベット族には中国からの分離独立志向がみられることとその背景についてもふれ授業を終わりたい。両地域とも資源に恵まれ、中央政府に対し「資源ナショナリズム」的反感を抱いていること、篤い信仰心にもとづいた民族的アイデンティティの強さを説明する。

\*映像教材 VTR『天地楽舞 中国五十五少数民族民間伝統芸能大系』日本ビクター(1997)西南編 20「チベット(藏族Ⅱ)」